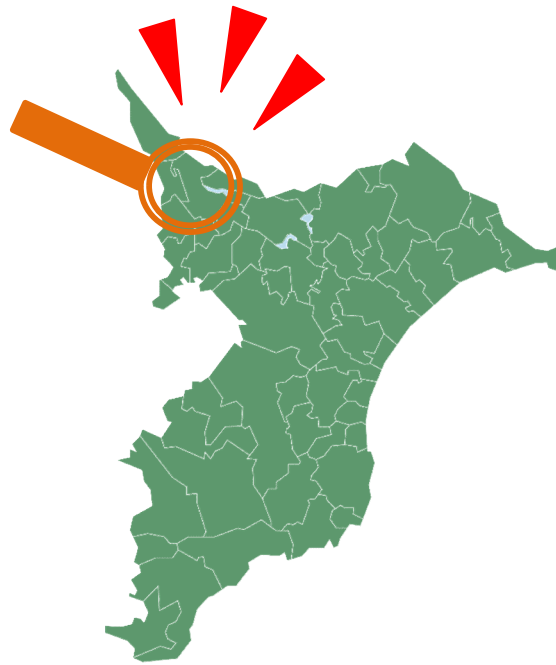


2025・8

柏の景気情報

令和7（2025）年8月の調査結果



柏商工会議所

The kashiwa Chamber Of Commerce and Industry

（本件担当） 柏商工会議所 中小企業相談所

〒277-0011 千葉県柏市東上町7-18

T E L : 04-7162-3305

F A X : 04-7162-3323

U R L : <http://www.kashiwa-cci.or.jp>

E - m a i l : info@kashiwa-cci.or.jp

柏の景気情報 (令和7年8月の調査結果のポイント)

★調査結果のまとめ

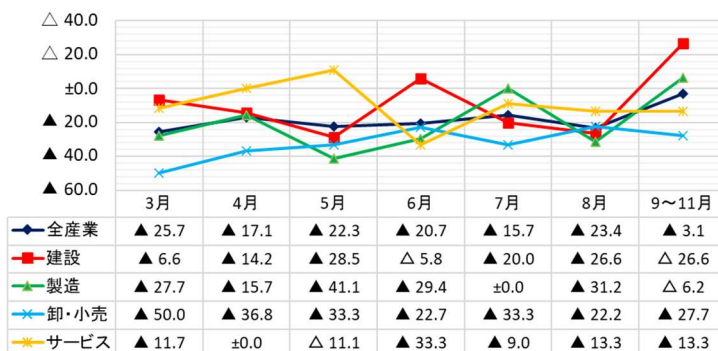
回答期間：令和7年8月20日～令和7年9月3日 調査対象：柏市内173業所及び組合にヒアリング、回答数64

固定費である原材料やエネルギー価格は高止まりを維持。猛暑による客足鈍化で業績は低迷状況。

8月の全産業合計の業況DI値（前年同月比ベース、以下同じ）は、▲23.4（前月水準▲15.7）となりマイナス幅が7.7ポイント拡大した。

各業界、先月に引き続き猛暑と価格の高止まりに苦戦。建設業・製造業では、原材料とエネルギー価格等が高止まりしている状況で、来年度の最低賃金の更新による労務費の上昇が不安視されている。卸・小売業・サービス業では、猛暑による客数の減少だけでなく、買い控えもあり売上は低迷。

柏の景気情報・産業別業況DI



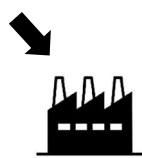
★業種別の動向

前月と比べたDI値の動き 改善 横ばい 悪化



建設業

「来月までの売上は堅調の見込みではあるが、10月以降の売上が未知数となっている。コンサルティング業務の場合は、仕入単価に相当するのは、消耗品等や燃料費などの経費だが、経費の上昇はある程度想定はしている。10月以降の売上確保のための施策や来年に向けた融資申請の準備が課題。また事務処理等を効率化または分業化するためにバックヤード従業員の受け入れも課題となっている」(地質調査)「コンプレッサー購入等定期的にお金がかかる」(畳工事請負・畳製造販売)



製造業

「原材料費、エネルギー価格の上昇、賃上げ等、コストアップに対応する為に、価格転嫁や生産性向上の為に設備投資等を進めているが、なかなか思うように進まない現状の中で、最低賃金は来年度も大幅に上がることとなり、労務費の上昇分を吸収することが更に難しくなっている」(自動車・同附属品製造)「8月は、取引先が夏季休暇などで、売上は減少。翌月からは売上増加の見込みだが、原材料・水道光熱費は高止まりのため、利益率は微増」(その他鋼鉄)「現時点では状況に大きな変化はなく、低迷状況が続いている。新規案件に期待するが具現化は今のところ流動的」(プラスチック加工)



卸・小売業

「7月まではどうにか凌いでいたが、8月に入り猛暑で日中のお客さまは確実に減少している。朝と夕刻は微増ながらも昼間をカバーできるほどでもない。客数に追い打ちをかけて点数も落ち込んでおり、一点単価の伸びは想像以上に各種の業績数値を圧迫し、嗜好品のみならず生活必需品にも買い控えの波がきている。当面は、価格訴求に重きをおいて客数及び点数の回復を最優先とする」(大型小売)「夏季休業の日数比例以上に売上げが良くなく、近隣の店舗も休日が多かった」(その他の各種商品小売)



サービス業

「猛暑の影響により客足は鈍っている。賃貸、売買共に取引は低調。空き家の売却相談や相続案件等が少しずつ増えてきている」(不動産管理)「人件費、資材、食材の上昇による収益悪化により、メニュー価格を上げざるを得ない状況」(日本料理)「ビックカメラの契約更新や丸井の後のテナント決定等、地域の明るい話題も多いが、そごう跡地が全く使用法が見えないのがネック」(不動産賃貸業)「この夏、建物周りの外構工事を依頼したが、暑さで大変。近い将来、暑さ対策で夜間作業が増えるかも」(不動産賃貸・管理業)

★全国の商工会議所早期景気観測調査 (CCI-LOBO) との比較

全産業合計では、「柏の景気」が▲23.4に対し、「CCI-LOBO」が▲18.8で、柏のほうがマイナス幅が4.6ポイント大きい。「柏の景気」の方が良い業種は、卸小売業である。「柏の景気」の方が悪い業種は、建設業、製造業、サービス業である。

今月の柏の景気天気図

柏の景気情報と全国CCI - LOBOとの比較

景気天気図					
	特に好調 DI ≥ 50	好調 50 > DI ≥ 25	まあまあ 25 > DI ≥ 0	不振 0 > DI ≥ ▲25	極めて不振 ▲25 > DI
業況DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 23.4	 ▲ 26.6	 ▲ 31.2	 ▲ 22.2	 ▲ 13.3
CCI-LOBO	 ▲ 18.8	 ▲ 13.4	 ▲ 19.7	 ▲ 27.0	 ▲ 11.6
売上DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 20.3	 ▲ 20.0	 ▲ 18.7	 ▲ 27.7	 ▲ 13.3
CCI-LOBO	 ▲ 6.1	 ▲ 10.1	 ▲ 5.7	 ▲ 13.9	 6.1
採算DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 18.7	 ▲ 20.0	 ▲ 31.2	 ▲ 16.6	 ▲ 6.6
CCI-LOBO	 ▲ 17.3	 ▲ 12.8	 ▲ 16.0	 ▲ 25.0	 ▲ 13.8
仕入単価DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 65.6	 ▲ 73.3	 ▲ 62.5	 ▲ 72.2	 ▲ 53.3
CCI-LOBO	 ▲ 61.7	 ▲ 69.2	 ▲ 55.5	 ▲ 65.1	 ▲ 63.1
従業員DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 18.7	 40.0	 12.5	 5.5	 20.0
CCI-LOBO	 19.8	 34.5	 10.7	 15.8	 26.5
資金繰りDI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 7.8	 ▲ 6.6	 ▲ 18.7	 ± 0.0	 ▲ 6.6
CCI-LOBO	 ▲ 12.6	 ▲ 6.4	 ▲ 16.4	 ▲ 17.1	 ▲ 11.8

CCI - LOBO

商工会議所早期景気観測(8月速報)

調査期間：2025年8月14日～20日

調査対象：全国の326商工会議所が2,455企業にヒアリング調査を実施

全国の業況

業況DIは、夏休み効果も天候が足かせで、ほぼ横ばい

先行きは、期待感うかがえるもコスト増の懸念続く

8月の全産業合計の業況DIは、▲18.8と前月比からプラス0.1ポイント。

サービス業では、夏休みイベントによる需要増で宿泊施設や飲食店を中心に、改善した。一方、建設業では、全国的な猛暑や一部地域での大雨の影響で工事の作業効率が低下し、悪化した。また、卸売業も猛暑や大雨に伴う農業被害の影響で食料品関係で仕入に悪影響があり、悪化した。

依然として物価高が消費マインドを押し下げており、消費者の節約志向の高まりが幅広い業種で指摘されているほか、長引く猛暑による外出控えの影響も継続して

いる。また、米国関税措置の本格化に伴い設備投資計画の見直しや先送りの動きが散見され、業況はほぼ横ばいとなった。

先行き見通しDIは、▲17.6と今月比からプラス1.2ポイント

来月以降も残暑が厳しい予報となっており、生鮮品の価格高騰や外出控えが継続する見込みである。また、10月以降の最低賃金見直しに伴い、人件費負担が増加することを不安視する声が多く聞かれている。

一方、高い水準での賃上げが続いており、消費マインド改善の下支えが期待される。また、米国関税交渉合意に至ったことで、一部混乱は見られるものの、経済の不透明感が和らいだことで、先行きは若干の上向き基調が見込まれる。

【建設業】
「資材価格高騰の影響に

より、大規模な案件が少なく、小規模工事の受注ばかりである」(リフォーム業)

「熱中症対策が義務付けられた中、建設工事の作業効率が悪く低下している。また、各地で線状降水帯による災害が頻発しており、工期の見直しなどの対応が必要不可欠である」(一般工事業)

【製造業】

「人手不足が深刻化しているため、生産性向上を狙った設備投資の受注が旺盛である。もともと、当社も人手不足で対応しきれないため、一部受注を断っている状態である」(非金属製造業)

「米国関税措置の本格化を受け、取引先で業績見直しの下方修正や設備投資計画の延期が発生し、当社の受注も減少している」(金属加工機械業)

【卸売業】

「6月から猛暑の継続に加え、線状降水帯発生に伴う大

雨で各地で農業被害が発生しており、農作物の品質劣化や価格の高騰など、仕入に悪影響が出ている」(農畜産水産物卸売業)

「10月以降に最低賃金が増える見込みで、今後の人件費増に耐えられるか不安が大きい。採用もできていないため、生産性向上が急務である」(文具卸売業)

【小売業】

「人気キャラクターとのコラボイベントがあり、県外からの集客もあり賑わった」(百貨店)

「様々な商品で値上げの動きが広がっており、消費者の節約志向が高まっている。さらに、猛暑に伴って外出機会も減少しているため、消費マインドは一段と低迷していると感じる」(化粧品販売)

【サービス業】

「夏休みシーズンに入り、インバウンドだけではなく国内観光客の数も増えた。もともと、想定していたより来園者数

が少なく、猛暑や物価高が足かせになっているように感じる」(公園・遊園地)

「繁忙期である『山の日』の3連休に豪雨が直撃してしまい、予約のキャンセルが多数発生した」(宿泊業)

全国・産業別業況DIの推移

「見通し」は当月水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しDI

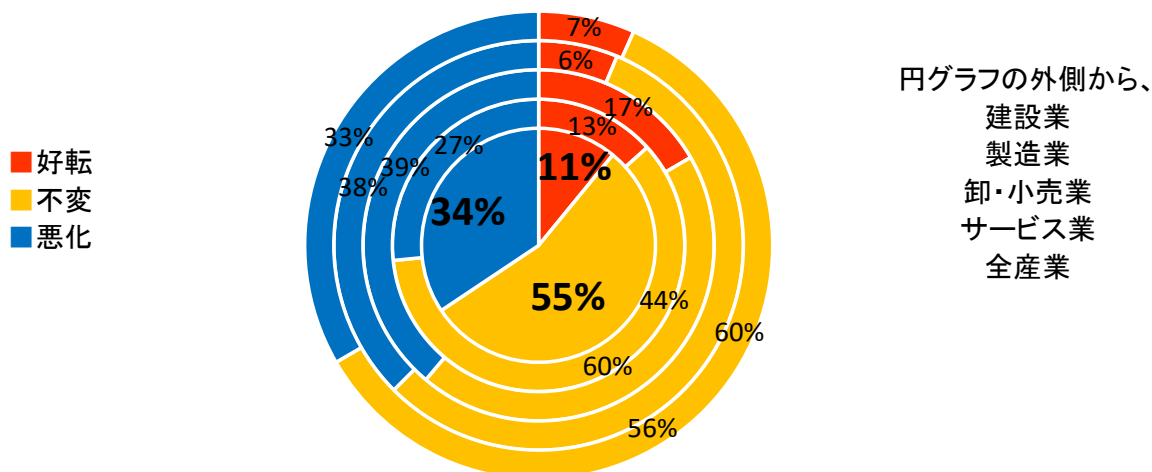
	全産業	建設	製造	卸売	小売	サービス
3月	▲19.2	▲15.6	▲24.7	▲17.6	▲23.1	▲13.9
4月	▲18.5	▲17.7	▲23.0	▲23.1	▲23.5	▲23.5
5月	▲18.0	▲13.8	▲22.3	▲23.7	▲25.2	▲8.5
6月	▲16.8	▲15.2	▲18.6	▲23.5	▲22.4	▲8.5
7月	▲18.9	▲12.3	▲20.0	▲18.7	▲27.1	▲15.8
8月	▲18.8	▲13.4	▲19.7	▲26.6	▲27.0	▲11.6
見通し	▲17.6	▲9.8	▲17.4	▲27.9	▲23.5	▲13.6

令和7年（2025年）8月の動向

【業況について】

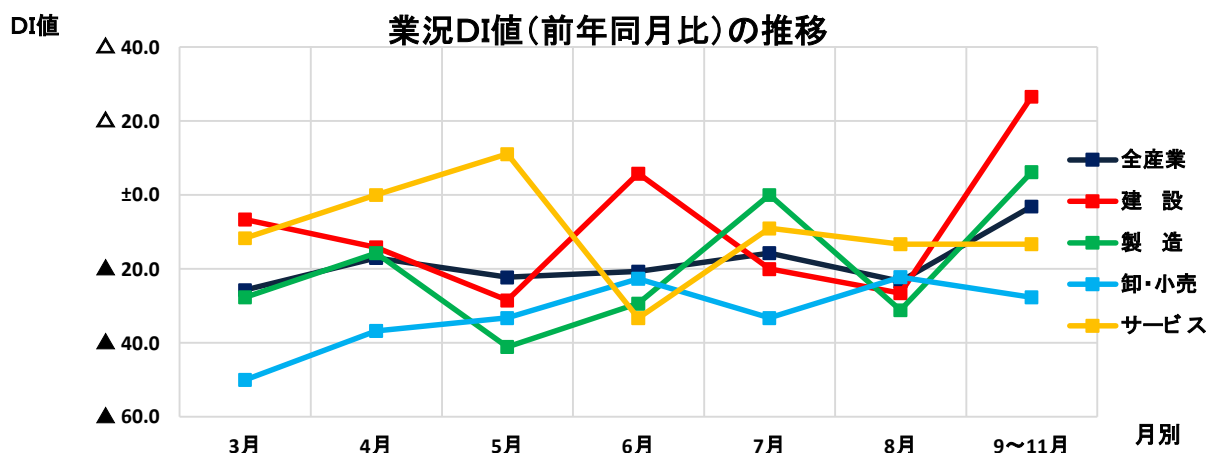
- 8月の全産業合計のDI値（前年同月比ベース、以下同じ）は、▲23.4（前月水準▲15.7）となり、マイナス幅が7.7ポイント拡大した。
- 向こう3ヶ月（9月から11月）の先行き見通しについては、全産業では、▲3.1（前月水準▲20.0）となり、マイナス幅が16.9ポイント縮小した。

前年同月と比較した今月の業況について



業況DI値（前年同月比）の推移 ※DI=「好転」の回答割合-「悪化」の回答割合

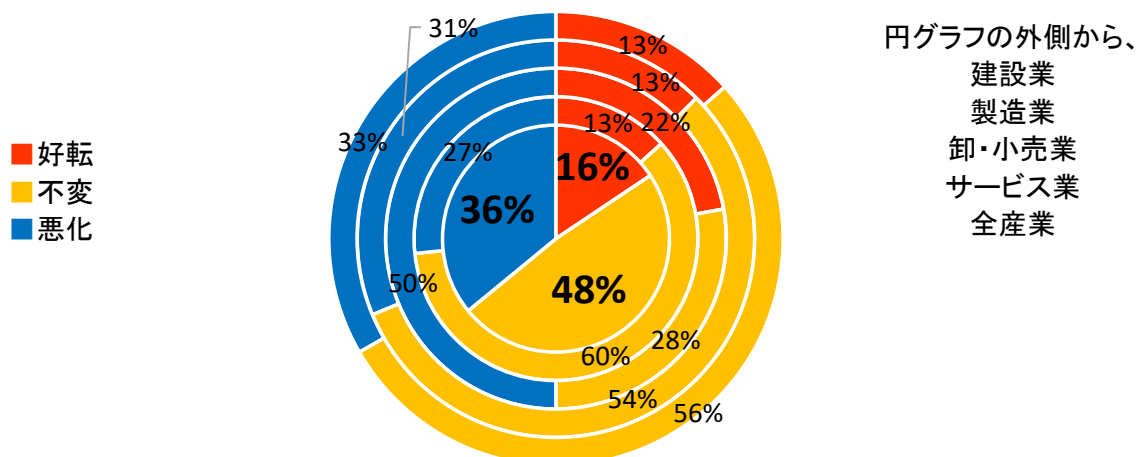
	令和7年						先行き見通し
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9～11月（8～10月）
全産業	▲25.7	▲17.1	▲22.3	▲20.7	▲15.7	▲23.4	▲3.1（▲20.0）
建設	▲6.6	▲14.2	▲28.5	△5.8	▲20.0	▲26.6	△26.6（±0.0）
製造	▲27.7	▲15.7	▲41.1	▲29.4	±0.0	▲31.2	△6.2（▲33.3）
卸・小売	▲50.0	▲36.8	▲33.3	▲22.7	▲33.3	▲22.2	▲27.7（▲44.4）
サービス	▲11.7	±0.0	△11.1	▲33.3	▲9.0	▲13.3	▲13.3（▲4.5）



【売上について】

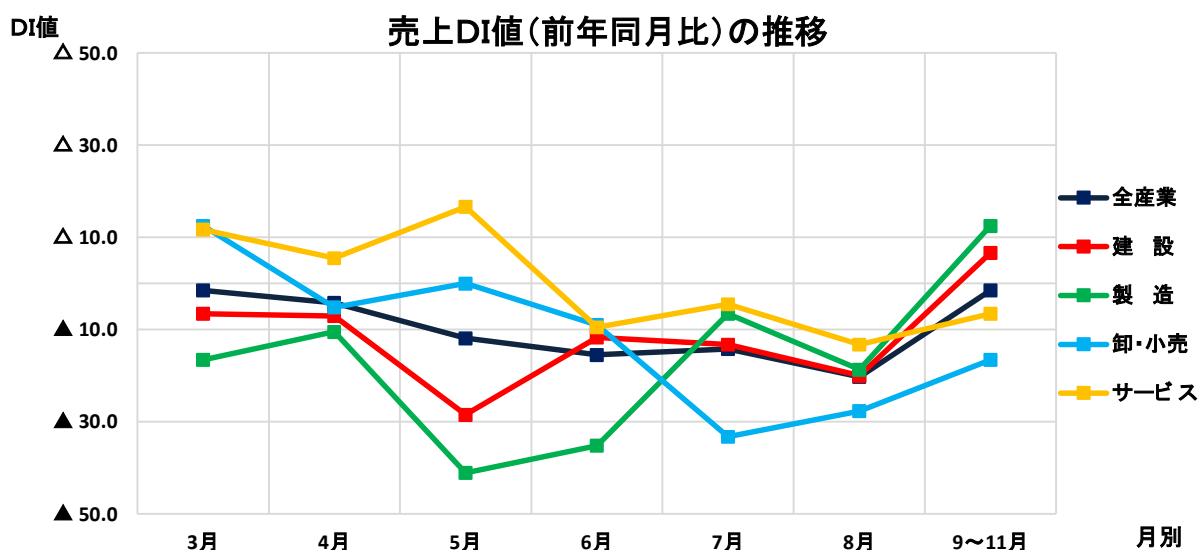
- 8月の全産業合計のD I 値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲20.3 (前月水準▲14.2) となり、マイナス幅6.1ポイント拡大した。
- 向こう3ヶ月(9月から11月)の先行き見通しについては、全産業では、▲1.5 (前月水準▲17.1) となり、マイナス幅が15.6ポイント拡大した。

前年同月と比較した今月の売上について



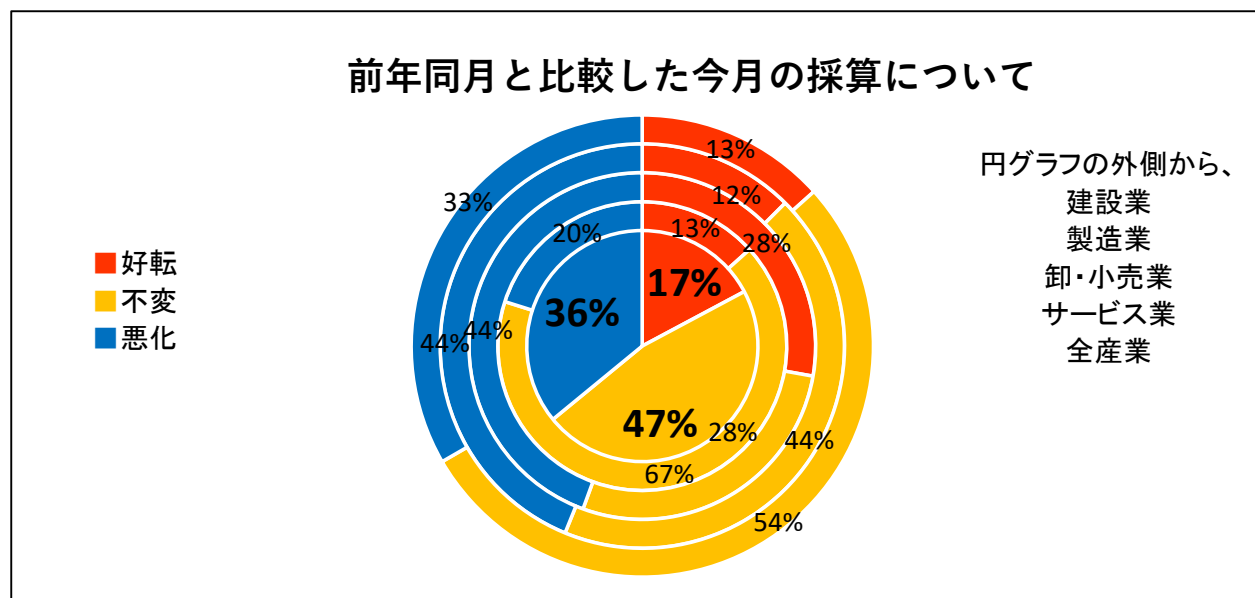
売上D I 値 (前年同月比) の推移 ※DI=「増加」の回答割合-「減少」の回答割合

	令和7年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	先行き見通し 9~11月 (8~10月)
全産業	▲ 1.5	▲ 4.2	▲ 11.9	▲ 15.5	▲ 14.2	▲ 20.3	▲ 1.5 (▲ 17.1)
建 設	▲ 6.6	▲ 7.1	▲ 28.5	▲ 11.7	▲ 13.3	▲ 20.0	△ 6.6 (▲ 6.6)
製 造	▲ 16.6	▲ 10.5	▲ 41.1	▲ 35.2	▲ 6.6	▲ 18.7	△ 12.5 (▲ 33.3)
卸・小売	△ 12.5	▲ 5.2	±0.0	▲ 9.0	▲ 33.3	▲ 27.7	▲ 16.6 (▲ 22.2)
サービ ス	△ 11.7	△ 5.5	△ 16.6	▲ 9.5	▲ 4.5	▲ 13.3	▲ 6.6 (▲ 9.0)



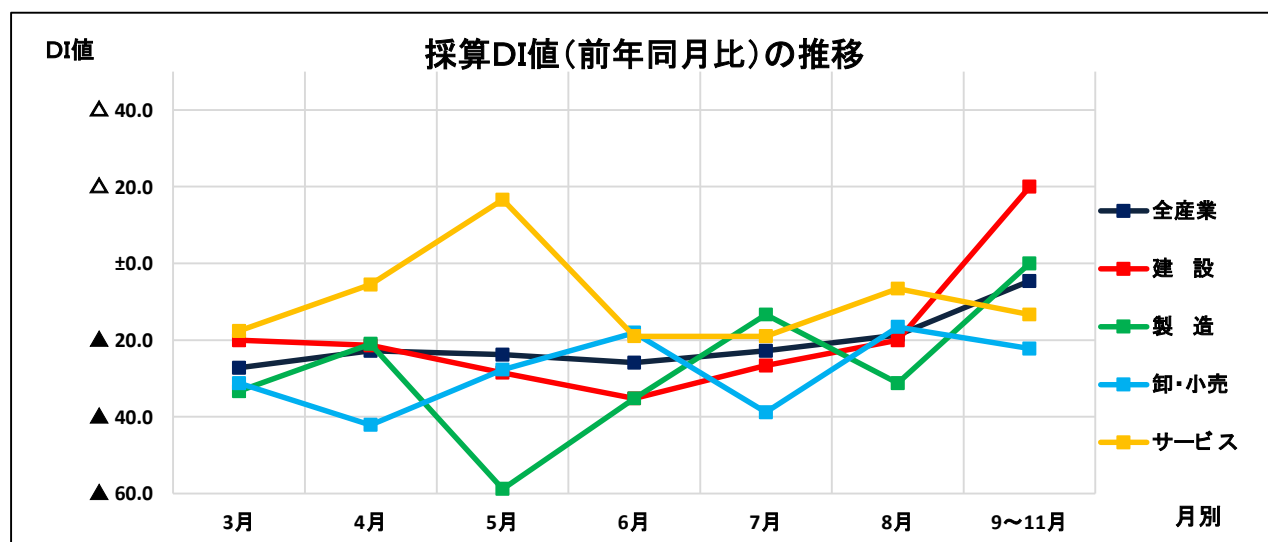
【採算について】

- 8月の全産業合計のD I 値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲18.7 (前月水準▲22.8) となり、マイナス幅が4.1ポイント縮小した。
- 向こう3ヶ月(9月から11月)の先行き見通しについては、全産業では、▲4.6 (前月水準 ▲15.7) であり、マイナス幅が11.1ポイント縮小する見通しである。



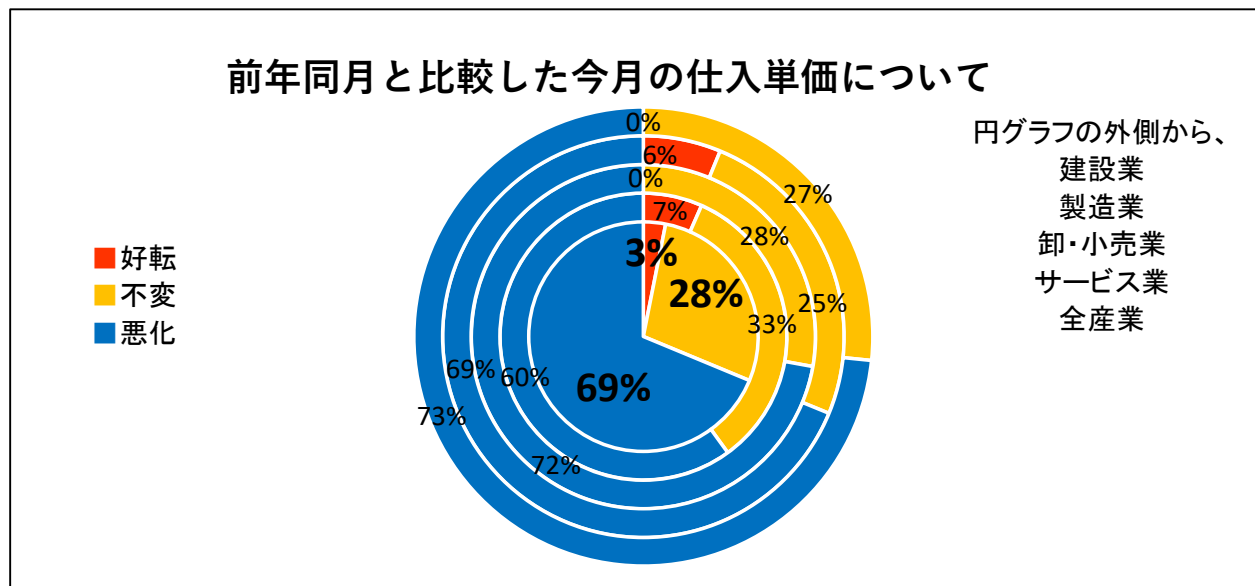
採算D I 値 (前年同月比) の推移 ※DI=「好転」の回答割合-「悪化」の回答割合

	令和7年						先行き見通し	
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9~11月 (8~10月)	
全産業	▲ 27.2	▲ 22.8	▲ 23.8	▲ 25.9	▲ 22.8	▲ 18.7	▲ 4.6 (▲ 15.7)	
建 設	▲ 20.0	▲ 21.4	▲ 28.5	▲ 35.2	▲ 26.6	▲ 20.0	△ 20.0 (±0.0)	
製 造	▲ 33.3	▲ 21.0	▲ 58.8	▲ 35.2	▲ 13.3	▲ 31.2	±0.0 (▲ 40.0)	
卸・小売	▲ 31.2	▲ 42.1	▲ 27.7	▲ 18.1	▲ 38.8	▲ 16.6	▲ 22.2 (▲ 22.2)	
サ ー ビ ス	▲ 17.6	▲ 5.5	△ 16.6	▲ 19.0	▲ 19.0	▲ 6.6	▲ 13.3 (▲ 4.5)	



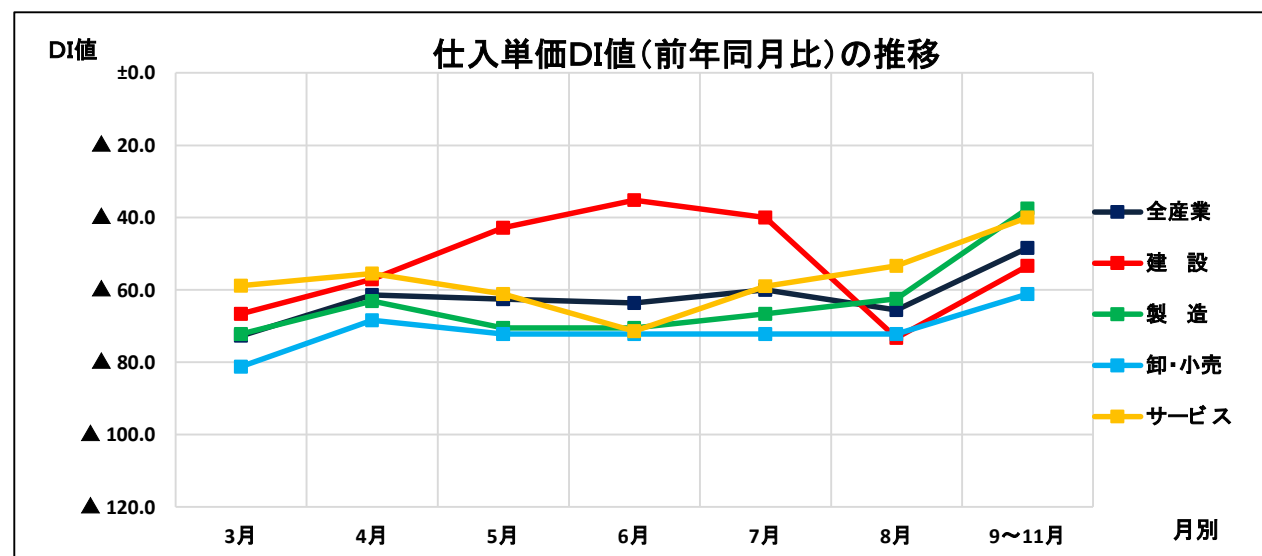
【仕入単価について】

- 8月の全産業合計のD I 値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲ 6 5. 6 (前月水準▲ 6 0. 0) となり、マイナス幅5. 6 ポイント拡大した。
- 向こう3ヶ月(9月から11月)の先行き見通しについては、全産業では、▲ 4 8. 4 (前月水準▲ 5 0. 0) となり、マイナス幅が7. 4 ポイント縮小する見通しである。



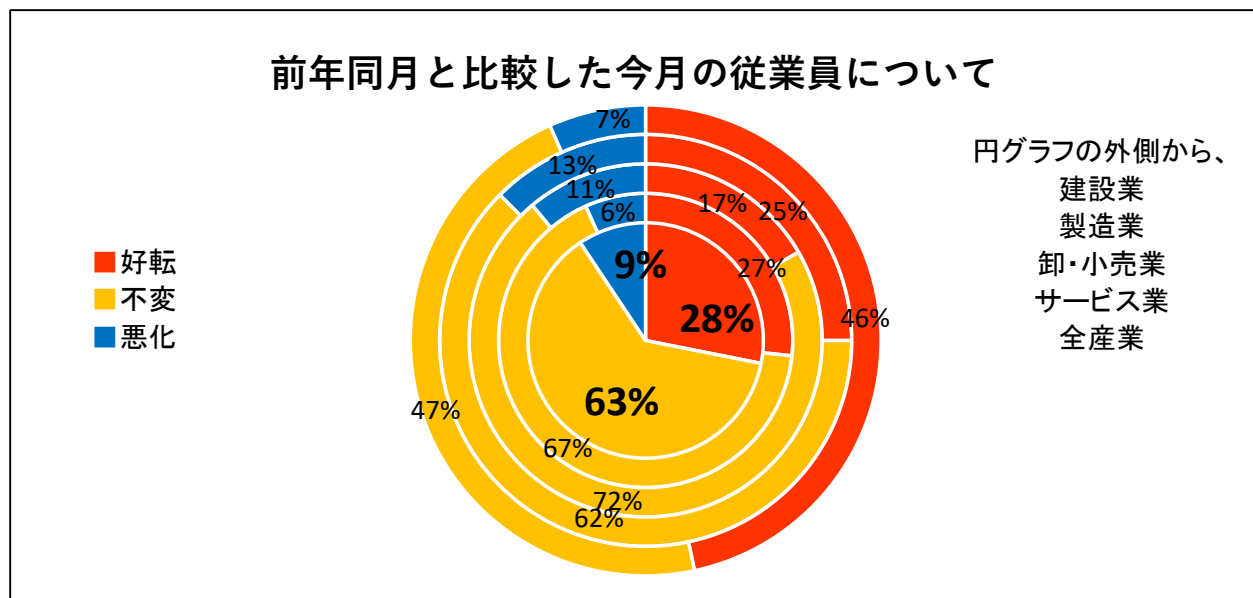
仕入単価D I 値 (前年同月比) の推移 ※DI=「下落」の回答割合-「上昇」の回答割合

	令和7年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	先行き見通し	
							9~11月 (	8~10月)
全産業	▲ 72.7	▲ 61.4	▲ 62.6	▲ 63.6	▲ 60.0	▲ 65.6	▲ 48.4 (	▲ 55.8)
建 設	▲ 66.6	▲ 57.1	▲ 42.8	▲ 35.2	▲ 40.0	▲ 73.3	▲ 53.3 (	▲ 41.1)
製 造	▲ 72.2	▲ 63.1	▲ 70.5	▲ 70.5	▲ 66.6	▲ 62.5	▲ 37.5 (	▲ 64.7)
卸・小売	▲ 81.2	▲ 68.4	▲ 72.2	▲ 72.2	▲ 72.2	▲ 72.2	▲ 61.1 (	▲ 50.0)
サービ ス	▲ 58.8	▲ 55.5	▲ 61.1	▲ 71.4	▲ 59.0	▲ 53.3	▲ 40.0 (	▲ 66.6)



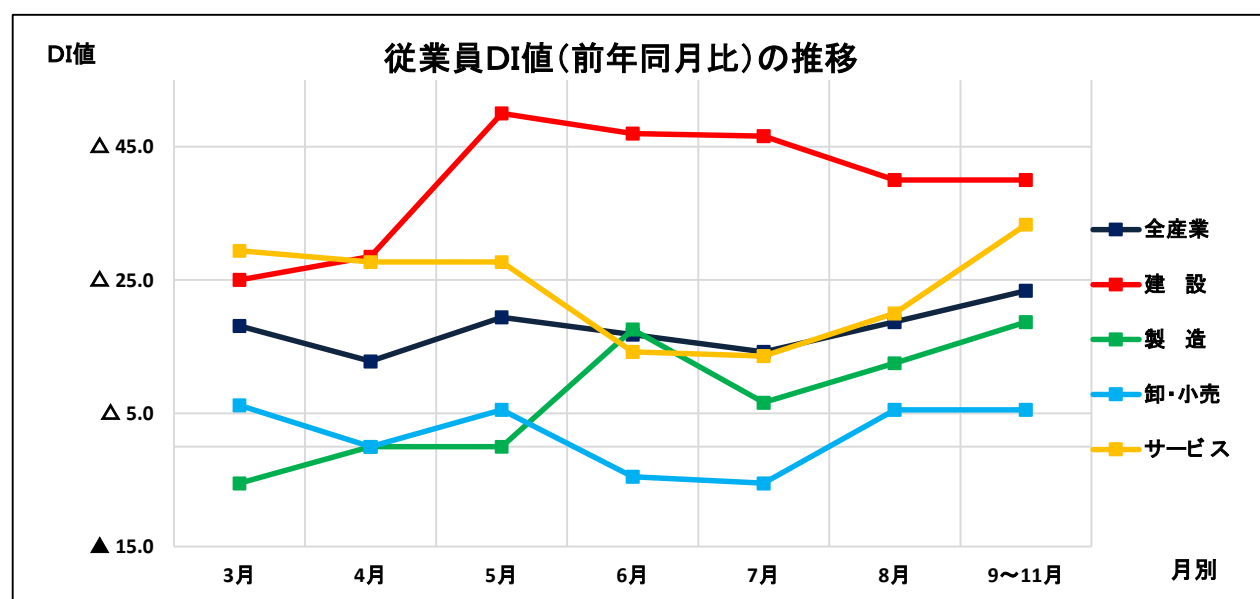
【従業員について】

- 8月の全産業合計のD I 値(前年同月比ベース、以下同じ)は、△18.7(前月水準△14.2)となり、プラス幅が4.5ポイント拡大した。
- 向こう3ヶ月(9月から11月)の先行き見通しについては、全産業では、△23.4(前月水準△17.1)となり、プラス幅が6.3ポイント拡大する見通しである。



従業員D I 値(前年同月比)の推移 ※DI=「過剰」の回答割合-「不足」の回答割合

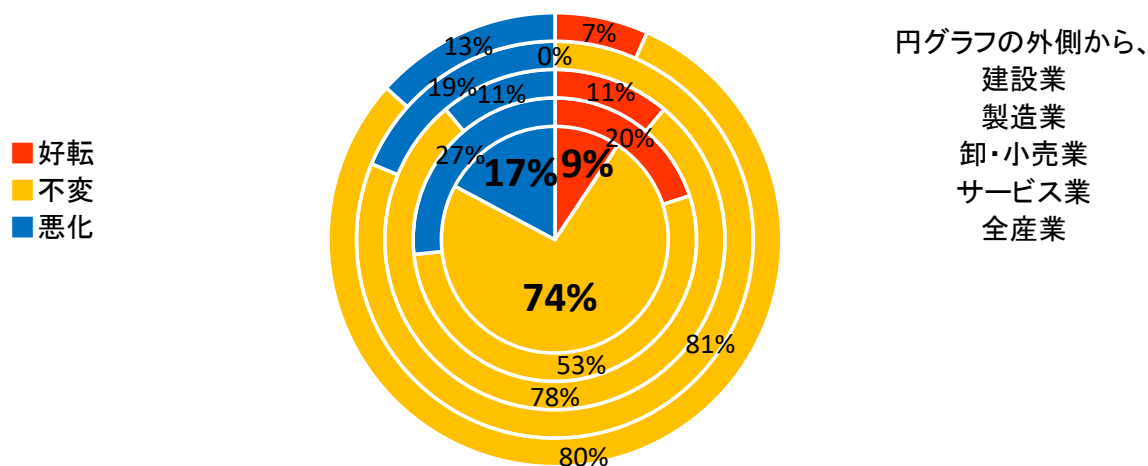
	令和7年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	先行き見通し 9~11月 (8~10月)
全産業	△ 18.1	△ 12.8	△ 19.4	△ 16.8	△ 14.2	△ 18.7	△ 23.4 (△ 17.1)
建 設	△ 25.0	△ 28.5	△ 50.0	△ 47.0	△ 46.6	△ 40.0	△ 40.0 (△ 46.6)
製 造	▲ 5.5	±0.0	±0.0	△ 17.6	△ 6.6	△ 12.5	△ 18.7 (±0.0)
卸・小売	△ 6.2	±0.0	△ 5.5	▲ 4.5	▲ 5.5	△ 5.5	△ 5.5 (▲ 5.5)
サービ ス	△ 29.4	△ 27.7	△ 27.7	△ 14.2	△ 13.6	△ 20.0	△ 33.3 (△ 27.2)



【資金繰りについて】

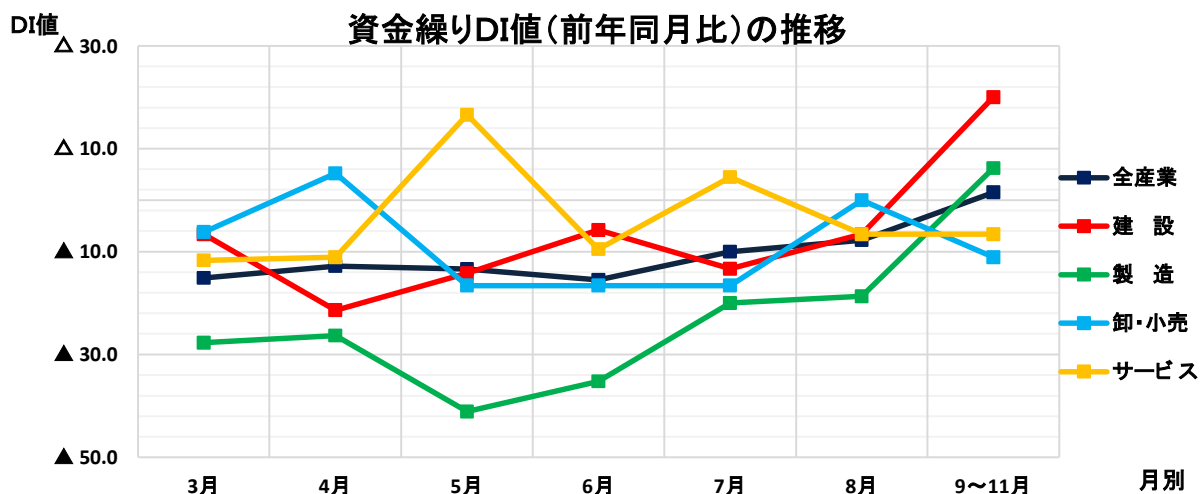
- 8月の全産業合計のD I 値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲7.8 (前月水準▲10.0) となり、マイナス幅が2.2ポイント縮小した。
- 向こう3ヶ月(9月から11月)の先行き見通しについては、全産業では、△1.5 (前月水準 ▲7.1) となり、マイナス幅が8.6ポイント縮小する見通しである。

前年同月と比較した今月の資金繰りについて



資金繰りD I 値 (前年同月比) の推移 ※DI=「好転」の回答割合-「悪化」の回答割合

	令和7年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	先行き見通し 9~11月 (8~10月)
全産業	▲ 15.1	▲ 12.8	▲ 13.4	▲ 15.5	▲ 10.0	▲ 7.8	△ 1.5 (▲ 7.1)
建 設	▲ 6.6	▲ 21.4	▲ 14.2	▲ 5.8	▲ 13.3	▲ 6.6	△ 20.0 (△ 6.6)
製 造	▲ 27.7	▲ 26.3	▲ 41.1	▲ 35.2	▲ 20.0	▲ 18.7	△ 6.2 (▲ 20.0)
卸・小売	▲ 6.2	△ 5.2	▲ 16.6	▲ 16.6	▲ 16.6	±0.0	▲ 11.1 (▲ 16.6)
サービ ス	▲ 11.7	▲ 11.1	△ 16.6	▲ 9.5	△ 4.5	▲ 6.6	▲ 6.6 (±0.0)

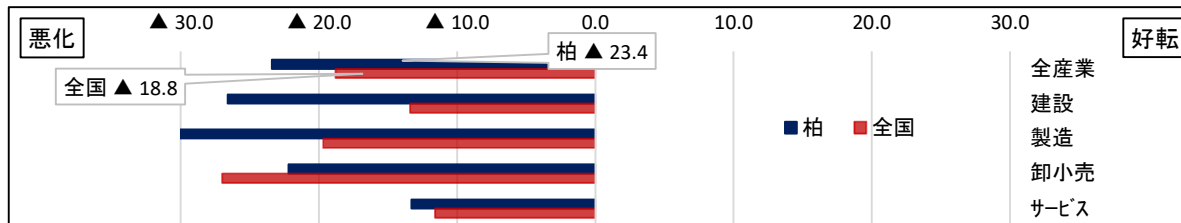


全国（CCI-LOBO）との比較

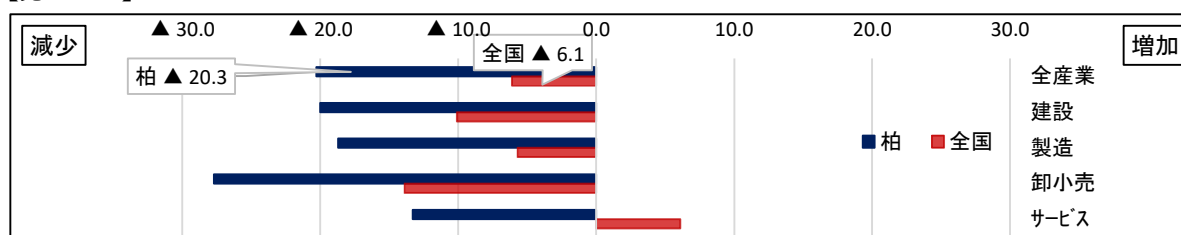
【CCI-LOBOとは】

日本商工会議所が各地商工会議所のネットワークを活用し、地域や中小企業が「肌で感じる足元の 景況感」や「直面する経営課題」を全国ベースで毎月調査し、その結果を集計・公表するものです

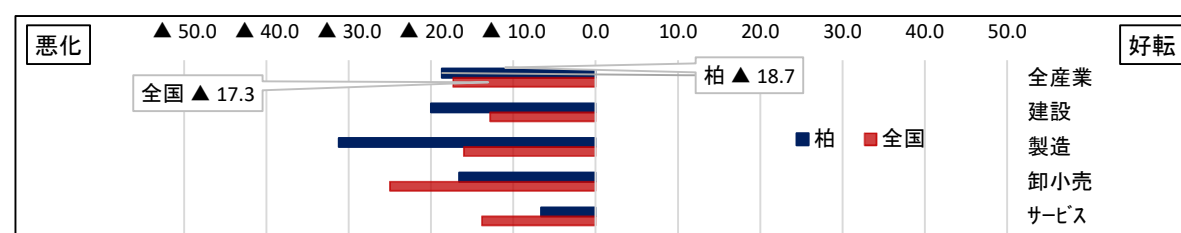
【業況DI】



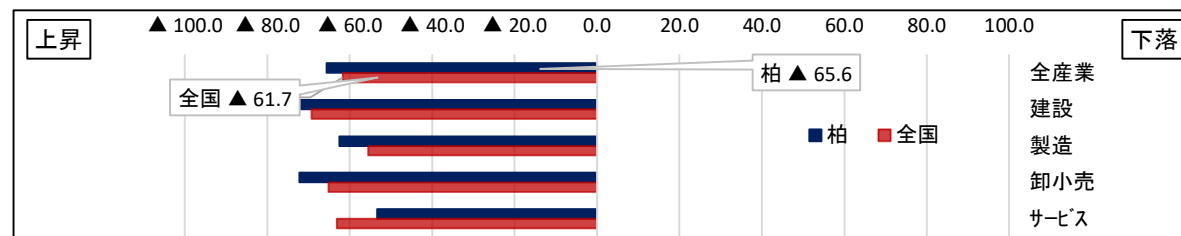
【売上DI】



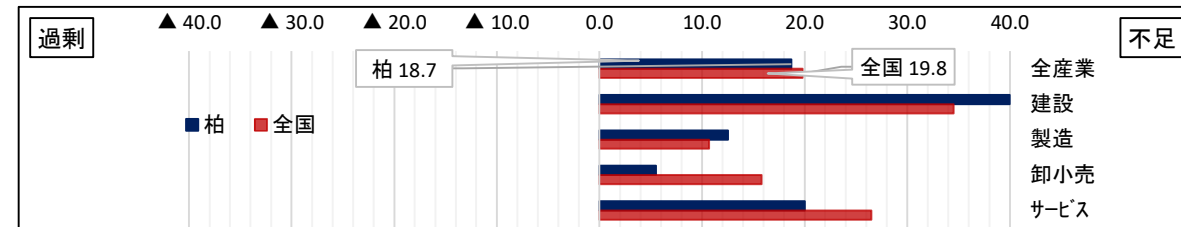
【採算DI】



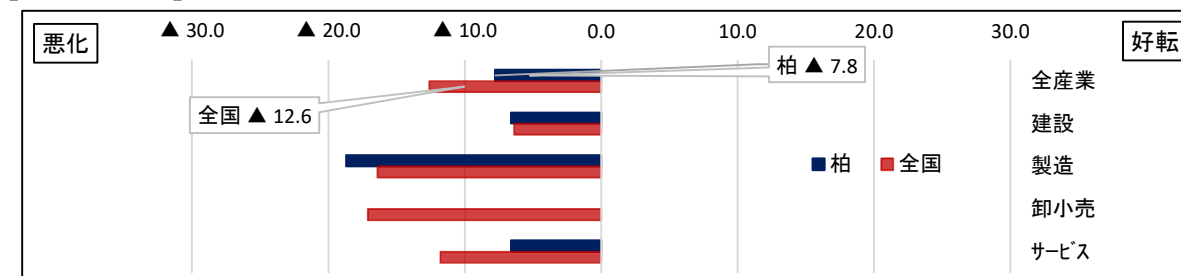
【仕入単価DI】



【従業員DI】



【資金繰りDI】



【業種別】業界内トピックス

業種別	概 況	業種
建設業	コンプレッサー購入等定期的に設備にお金がかかる。	畳工事請負・畳製造販売業
	来月までの売上は堅調の見込みであるが、10月以降の売上が未知数となっている。弊社(コンサルティング業務)の場合は、仕入単価に相当するのは、消耗品等や燃料費などの経費に相当しますが、経費の上昇はあるていど想定はしております。10月以降の売上確保のための施策や来年から融資申請の準備が課題です。また事務処理等を効率化または分業化するためにバックヤード従業員の受入も課題となっています。	地質調査・地質コンサルタント
製造業	現時点で状況に大きな変化はなく、低迷状況が続いている。新規案件に期待するが具現化は今のところ流動的	プラスチック加工
	原材料費、エネルギー価格の上昇、賃上げ等、コストアップに対応する為に、価格転嫁や生産性向上の為に設備投資等を進めているが、中々思うように進まない状況の中で、最低賃金は来年度も大幅に上がることとなり、労務費の上昇分を吸収することが更に難しくなってきている。	自動車・同附属品製造業
	8月は、取引先が夏季休暇などで、売上は減少。翌月からは売上増加のみ込みだが原材料、光熱水費は高止まりにて売上増での利益率は微増。	その他の鉄鋼業
卸・小売業	7月まではどうにか凌いでいたが、8月に入り猛暑で日中のお客さまは確実に減少している。朝と夕刻は微増ながらも昼間をカバーできるほどでもない。客数に追い打ちをかけて点数も落ち込んでおり、一点単価の伸びは想像以上に各種の業績数値を圧迫し、嗜好品のみならず生活必需品にも買い控えの波が来ている。当面は、価格訴求に重きを置いて客数及び点数の回復を最優先とする。	大型小売店
	夏季休業の日数比例以上に売上げが良くなく、近隣の店舗も休日が多かった。	その他の各種商品小売業
サービス業	ビッグカメラの契約更新や丸井の後テナントの決定等地域の明るい話題も多いが、そこが跡地が全く使用法が見えないのが一番のネックです。	不動産賃貸業
	猛暑の影響により客足は鈍っている。賃貸、売買共に取引は低調。空き家の売却相談や相続案件等が少しずつ増えてきている。	不動産管理業
	人件費、資材、食材の上昇による収益の悪化により、メニュー価格を上げざるを得ない状況	日本料理
	この夏、建物周りの外構工事を依頼したが、暑さで大変です。近い将来、暑さ対策で夜間作業が増えるかも。	不動産賃貸・管理業

調査要領

回答期間

令和7年8月19日 ～ 令和7年9月3日

調査対象

柏市内173事業所及び組合にヒアリング

<業種別回収状況>

調査産業	調査対象数	回答数	回収率
全産業	173	64	37.0%
建設	38	15	39.5%
製造	44	16	36.4%
卸・小売	46	18	39.1%
サービス	45	15	33.3%

調査方法と調査票

下記「質問A」をDI値集計し、「質問B」で「業界内のトピック」の記述回答。

質問A

質問事項	回 答 欄					
	前年同月と比較した 今月の水準			今月の水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通し		
a.売上高（出荷高）	1 増加	2 不変	3 減少	1 増加	2 不変	3 減少
b.採算 （経常利益ベース）	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化
c.仕入単価	1 下落	2 不変	3 上昇	1 下落	2 不変	3 上昇
d.従業員	1 不足	2 適正	3 過剰	1 不足	2 適正	3 過剰
e.業況	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化
f.資金繰り	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化

質問B 業界内のトピック（記述式）

※DI値（景況判断指数）について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

DI = （増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

※DI値と景気の概況

DI ≥ 50	50 > DI ≥ 25	25 > DI ≥ 0	0 > DI ≥ ▲25	▲25 > DI
特に好調 	好調 	まあまあ 	不振 	極めて不振 